

編輯室の内外

初夏の氣分が漂ひだした、焼くやうな暑さが編輯室を訪れてくるのも近いであらうと想へば、苦痛感を起さずには居られないが、此季節に政府の豫算が決定するのだから尻古垂れてゐる時ではない、大に策動して昭和六年度の豫算には路政の一大刷新を期せねばならぬ、起債緩和と言ふ聲を聞いたゞけでも何だか不景氣が挽回されたやうな氣持になる、併し議會で鬭争中に言明されたことには随分に駭引があるから、其の言葉に信賴して太平樂に耽ることを許されない、編輯子等は政府豫算の編成方針を監視して、本年度と同じやうな路政の持越しを防止しなければならぬ。斯う想ふとき

編輯室の内外

は炎暑の苦痛感も解軋する、讀者諸士も吾々に聲援して頂き度いものだ。

政府の方針を遵奉するに忠實すぎる程の地方長官も、政府が議會で言明したことやら地方長官會議で訓示したことやらを綜合考察して、所謂政府當路の肚裡を以て心として貰ひたい、言明やら訓示を眞正面に讀まないで、横から縦から乃至は裏からも讀むて表現されない心裡を究明することが肝要だ、夫れに立脚して六年度地方豫算を編成することを忘れてはならぬ、誰か言つてゐる、俺のところは普通道路の改良の爲に起債が許可されたぞと、夫れが起債禁止時代の自慢話であることを知つて貰ひたい。本誌讀者が、日毎に増加するのは全く地方幹事諸士の努力の賜であつて、感謝する所

であるが、最近岩手縣に於ては著しい増加を見た、是は一に丹羽七郎知事が本會の關係者であるのと、土木課長の長谷川勝伍君が熱心に奔走して呉られた結果であつて編輯同人の頗る満足するところ、謹て敬意を表する。

本誌定價 五十錢
一ケ年分 金六圓

東京市麹町區大手町一丁目内務省

發行所 社團 道路改良會
法人

發行兼編輯者 小島 效

東京市芝區愛宕町三ノ二二

印刷所 東洋印刷株式會社

印刷者 牛丸勝三郎